

# 令和7年度 多職種連携研修会アンケート

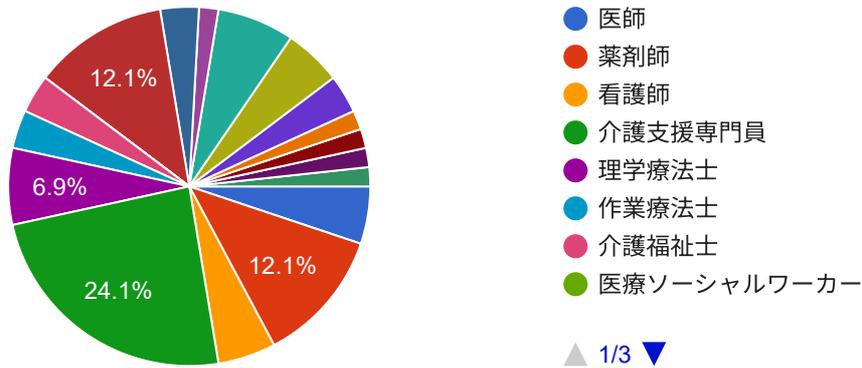
58件の回答

[分析を公開](#)

## 1、職種

 コピー

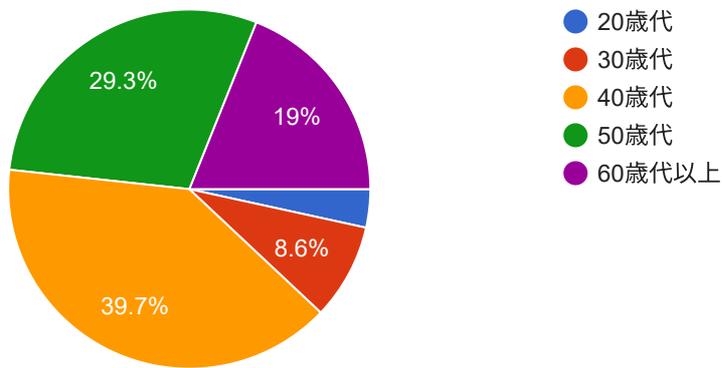
58件の回答



## 2、年代

 コピー

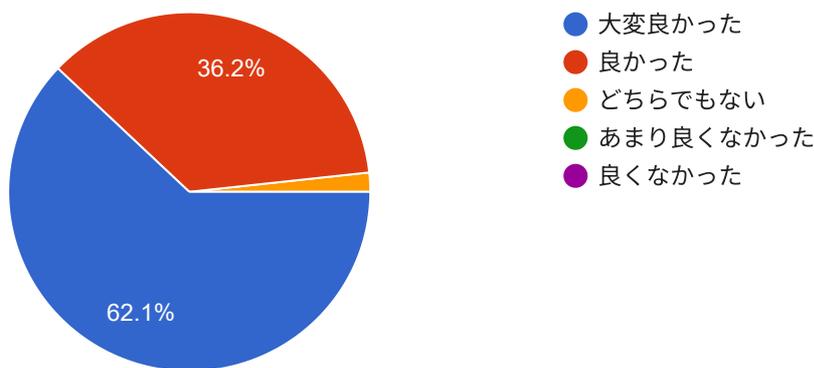
58件の回答



## 3、「自然災害と防災・減災」内容について

 コピー

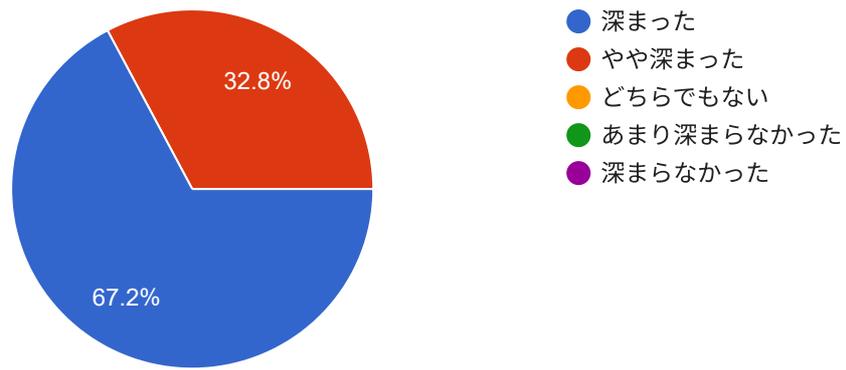
58件の回答



#### 4、自然災害への防災についての理解度はどうでしたか？

コピー

58 件の回答



## 5、防災について大切だと感じることは何だと思いますか？

43 件の回答

事前の準備  
情報収集  
早めの決断

河川災害に関して、1つの組織だけでなく色々な所から考えられているのだなと思いました。  
地形と歴史を知ることが大切だと思えた。  
現在も雨が続いています。  
身近に迫る思いできました。

日頃から心構え、対応策の十分な理解の必要性があると思います

各種災害について学び備える事が大切だと思う。

情報を得る事。  
いざという時どの様に動くか、関係者と話し合っておく事。  
実際に動いてみる事。

行政、地域、医療、介護、福祉とのネットワーク作りで要支援者の把握。

正しい情報を集めて、早めに行動することが大切だと思った。

様々な情報を自分で判断し早めの避難

正確な情報と正しい判断  
国・県・市を含む連携

事前に知って、事前に備えることが大切だと思います。  
今日はニュースでよく聞く言葉を具体的に知ることができて大変勉強になりました。

自然災害はいつどこで起きてもおかしくないため、日頃から防災について考え予測予防ができることを行うこと。  
地域の自然、社会の特徴を理解することが重要であると実感しました。  
今いる地域だけでなく、地域全体をみるという視点は今後実践していきたいと思います。

防災には「地理と歴史を知る事」ということが目から鱗でした。  
また、「皆さんの命を行政に委ねないで下さい」という言葉も驚きでした。  
自分の身は自分で守る、尚且つ余裕があれば周りを支援する。  
普段から有事に備えておく。決めることが必要だと感じました。

情報を早く入手し、判断する。  
日頃から防災を意識しておくことが大切。

お互い様で助け合うことが大事だと感じました。



日ごろから対策を準備すること。筑後川のリスクが高いと立体図形でわかりました。防災グッズやマップを利用し家族とも話し合うこと。水害から自分を守ること。落ち着いて行動すること。周りの人も助け合いながら高い位置に逃げること。洪水、内水、土砂災害、高潮が来た時のハザードマップで見ると3m～5mとなること。最悪なことも考えておくこと。

警戒レベルが出て非難が必要な状況（レベル3～4）になっても本当に避難すべきか迷う事が多く、結局避難しないまま時間が過ぎてしまいます。避難する勇気が必要だと思います。地域の自然について話が聞けたので良かったです。

日常の対策をしておくこと  
国土交通省の日常の筑後川整備を充実継続していただき感謝

情報収集と日頃からの準備。  
いざという時に落ち着いて行動できるようにしておくことが大事だと思うので、そのためには情報をいかに集めるかが大事だと思いました。

身の回りでどのような災害が起こる可能性があるのか事前に情報を得ておくこと。  
早めに避難することが大切だと感じた。  
また、他機関では協働し被害を防止することも重要であると思った。

自分達の危険性をしっかりと考え順準を整える。  
地域との繋がりを大切にする。  
地理の理解を深める。

ありがとうございました。

早めの情報収集

水害から自分や周囲の人を守る為の移動手段や避難場所を常日頃から話し合っておく。

自分の身を守るために情報を集めることが大事だと思いました。

情報を先に知ることが大事だと思いました。  
小学校の社会見学で筑後川河川事務所を見学しました。住民の方々の命に関わる事なので、大変関心のある題材を取り上げてもらって良かったです。

情報収集

平時の備え

平時から居住地の災害リスクの度合いを確認、意識して被災する状況を想像しておくこと。

自然を理解し、天候や情報の把握方法について知ることが大事だと思いました。

命を守ることが大切である



情報を早くから入手して、災害が起こると意識しておくこと  
どこが安全かを把握して、避難するプランを立てておくこと

まずは自分の住んでいる地域の地形、地質、社会を知ることだと感じた。  
正しい情報を得ること。

正しい情報をいかに早く収集できれば良いと思いました

正確な情報のキャッチ

情報収集と判断

医療従事者は自分の命はもとより、人の命を救うことを仕事としているので、このような研修会で知識を高めることが必要だと思いました。

その土地を理解することが大切だと思いました。  
また、情報を正確に把握する。

生活圏域の地理的特徴を知ることが大切だと思った  
情報を得ること

楽観視しない

日頃からの近所との交流、つきあい。  
どこへ避難するのか？避難ルートはどうするのか？  
日頃から考えている事が必要。

自分の住む地域の特性や地理などを理解した上で様々な情報を加えて備えて動くことが大切だと思います。  
毎年のように豪雨が起る時代なので、新しい情報を収集し正しい判断をできるようにしておく必要があると感じています。

情報をいち早く収集し、的確な行動をとる事

情報

減災という考えも必要ということが大切



## 6、今後の多職種連携協議会の研修において取り上げて欲しいテーマは？

9件の回答

高齢者の福祉サービスについて

緊急時対応

要支援者の防災時の対応など

地震・台風に対しての話

糖尿病の治療に関する研修（食事療法やインスリン療法）  
人工肛門のスキントラブルの対応について

入院→在宅へ円滑な支援ができる情報共有の在り方

災害現場での活動に関する研修

認知症高齢者の独居生活に於ける多職種連携支援。

毎回、勉強になります。ありがとうございます。  
医療、病院との連携がしやすくなるように研修会で顔を合わせる機会があれば参加したいです。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - [フォームのオーナーに問い合わせる](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

## Google フォーム



